



北淡路で



# チャレンジ 農業ビジネス

北淡路 先端ファームの形成



特別動画  
公開中

農業参入企業の  
インタビューが  
ご覧いただけます。



# 北淡路地区の特徴

## 1. 環境が良い

- ① 温暖な気候。平均気温16℃ (-4~36℃)
- ② 景観抜群、風光明媚。海に近い。
- ③ 年間降水量1,258mm(郡家観測所 全国平均1,877mm 2021年)
- ④ 日照時間が長い。2,228時間/年(全国平均1,990時間 2019年)

## 2. 都市圏からのアクセスが良い

- ① 神戸から30分 ② 大阪から60分
- ③ 大消費圏が明石海峡大橋を渡るとすぐ先



北淡路まで神戸から30分

## 3. 観光客をターゲットにできる

- ① あわじ花さじきへ、年間70~80万人の観光客
- ② 観光農園や多様な農業を展開



兵庫県立公園あわじ花さじき

## 4. 6次産業化を展開できる

- ① 淡路島ブランドとして商品化できる。
- ② 企業間の連携や取組みが活発化
- ③ 「農産物の生産→加工→販売」の新しい農業分野へチャレンジ



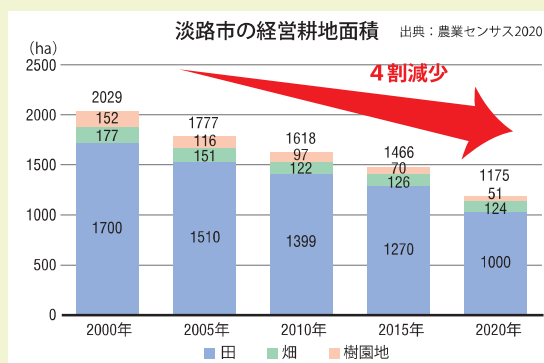
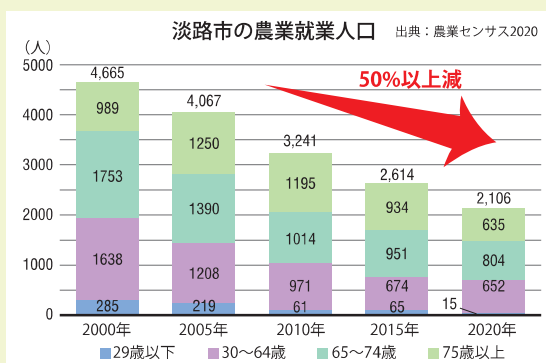
常盤ダム

## 5. 用水設備が完備され、用水が安定供給される

- ① 水源は常盤ダム、谷山ダム  
1,020千㎡の水源(常盤ダム633千㎡、谷山ダム387千㎡)
- ② 各農地へは、パイプラインにより配水
- ③ 給水設備(給水栓、スプリンクラー)完備

# 淡路市の農業を取り巻く現状

- ① 農業就業人口は年々減少
- ② 経営耕地面積は年々減少。特に樹園地は半分以下
- ③ 農業算出額は毎年50億円程度。近年は畜産部門が全体の約4割。花きや野菜の占める割合も高い



# 北淡路地区の現状と課題

## 1. 担い手の不足

- ① 農業就業人口の著しい減少により担い手不足
- ② 個別経営体での営農が中心
- ③ 近年は新規事業者の農業参入が増加(約30者)

## 2. 造成された農地・ダムの有効活用

- ① すべての農地で給水設備が完備し、豊富な農業用水が利用できる・常に安定的な用水を確保
- ② 北淡路は中山間地域で開拓農地は傾斜畑が多く、普通野菜に取り組む企業にとっては適地は少ない
- ③ 不整形な農地や狭小な道路については、作業の効率化に向けた農地整備工事を進めている

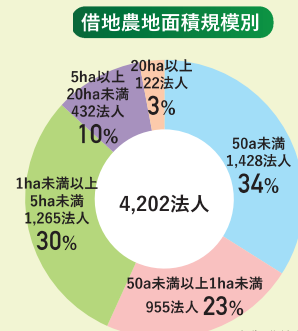
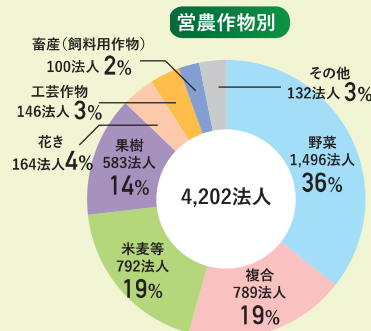
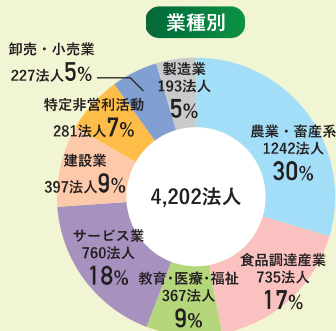
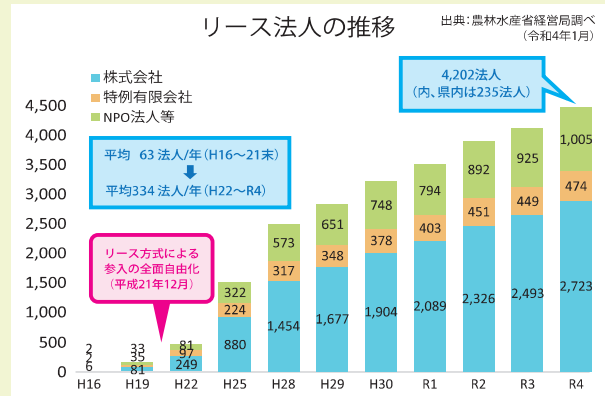
## 3. 耕作放棄地の増加

- ① 1989年の完成以降、社会・農業情勢の変化により耕作放棄地が増加
- ② 耕作放棄地は農地全体の約3割(約100ha 2023年7月時点)
- ③ 農地中間管理事業を活用した企業等による未利用農地の貸借が増加

# 全国の農業参入の動向

平成21年の農地法改正により、リース方式による農業参入が全面解禁され、全国的に増加している。  
(北淡路においても平成21年度の2者から令和5年度の30者へ急増している)

- ① 国内市場の動向や海外市場での日本産農作物の状況による変動にも影響される。
- ② 農業・畜産系の中には観光農園(サービス業に近い)、一般企業の子会社など、他の業種だった企業も含まれているため純粋な農業・畜産業法人は1242法人のうち一部と思われる。
- ③ 作物別では野菜が最も多いが、複合が増えつつある。
- ④ 実際に企業が農産物の販売のみで黒字となるのは参入企業全体の3割程度と言われており、自社産物の加工販売など6次産業化により経営基盤の確立を目指す企業も多い。
- ⑤ 1ha未満の借入面積で経営している企業も半数以上あり、業態によっては小規模であっても企業参入が見込まれる。



# 北淡路1期地区は こんなところ

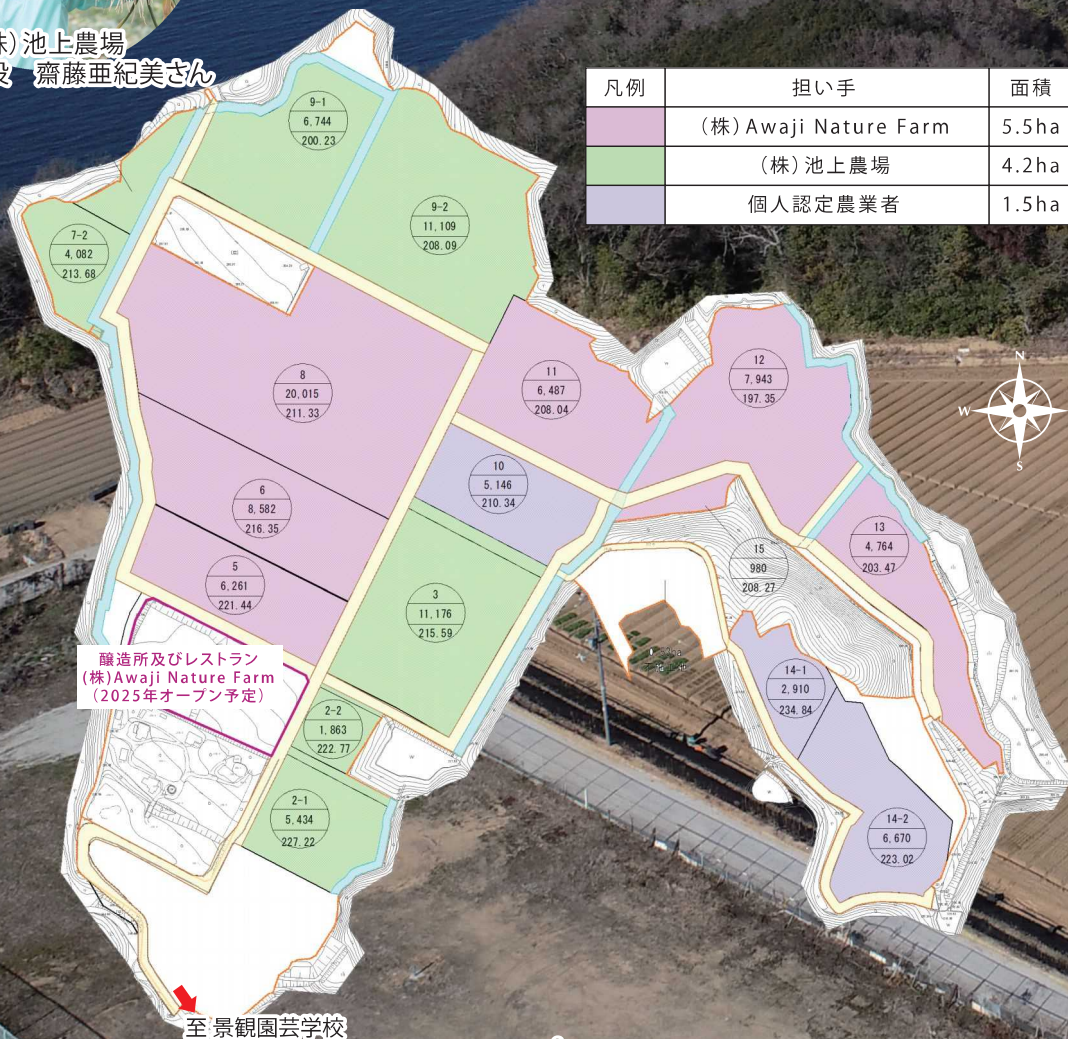
(北淡1-1団地)



素晴らしい景色を見ながら営農できます。

(株)池上農場  
代表取締役 齋藤亜紀美さん

凡例	担い手	面積	作付作物
<span style="background-color: #d8bfd8; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	(株)Awaji Nature Farm	5.5ha	ワインブドウ
<span style="background-color: #90ee90; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	(株)池上農場	4.2ha	たまねぎ
<span style="background-color: #b0c4de; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 10px;"></span>	個人認定農業者	1.5ha	さつまいも



醸造所及びレストラン  
(株)Awaji Nature Farm  
(2025年オープン予定)

至 景観園芸学校

北淡路で活用する事業

# 農地中間管理機構関連農地整備事業

## 事業要件

- ・10ha以上（中山間地域は5ha以上）のまとまった農地
- ・全ての農地を農地中間管理機構へ貸出し（貸付期間は15年以上）
- ・対象農地の8割以上を担い手に集団化または担い手への集積率及び集約化率が50%以上向上
- ・担い手は認定農業者、認定新規就農者
- ・事業区域の収益性が20%以上向上 など

借り手  
(参入企業)



(株)Awaji Nature Farm  
代表取締役 田中康輔さん

## 借り手・貸し手それぞれのメリット

- ・オーダーメイドの整備で、基盤整備に係る負担金ゼロ。
- ・まとまった農地を長期間契約でき、安心して耕作することができます。
- ・隣接地に集客施設も計画しており、北淡路のすばらしさを体感してもらいます。

- ・栗の植え替えもできず耕作放棄地も増えていたので、公募による企業が参入してくれて安心しました。
- ・草刈りや法面の管理も担ってもらえ、助かります。
- ・農地も生まれ変わり、活気が戻ってきました。

貸し手  
(地権者)



北淡1-1団地代表  
中田季宏さん

## 事業実施の流れ

- R1 公募実施
- R1 参入企業決定
- R1 調査設計実施
- R3 事業採択

国に事業計画を認めてもらう。

### いよいよ事業スタート!!

- R3 実施設計
- R4 工事スタート
- ~R6 完成したほ場から営農開始
- R7 換地 事業完了(予定)

## 公募要件(抜粋) (R3時点)

- 賦課金 (2500円/反・年)
- 賃貸料 (5000円/反・年)
- 水代 (90円/トン)

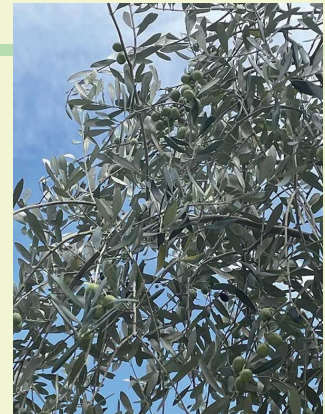
## 今後の予定

- 北淡路2期 R2公募  
→ R6営農開始予定
- 北淡路3期 R3公募  
→ R8営農開始予定
- 北淡路4期 R7公募予定

# 参入企業インタビュー

(株)ユウキノチカラ 代表取締役 原秀子さん

木々が生い茂りジャングル化した淡路島久野々の土地を綺麗に整地し、播磨灘や瀬戸内海に落ちる夕陽が一望できる丘に整然と植樹された約1,000本のオリーブ、レモン等。太陽の恵みをいっぱい受け有機農法で育ったオリーブ、レモンから作り出される商品。淡路島の自然と風土を活かした地域連携、地産地消を目指します。



太陽通関(株) 代表取締役 松本潤一さん

## 取組みの内容は？

但馬牛の子牛を生産しています。

## 会社名にある通関とはどういう仕事？

弊社は税関から営業許可を得て、全国の港において一般貨物の輸出入手続きや運送を長年営んでおります。通関は正確かつ迅速におこなうことが評価される一方、畜産は地域環境や人の健康に与える影響と責任が大きく、そこに魅力を感じて参入しました。



## 今後の目標は？

弊社は急傾斜の荒廃農地を伐採し、牧場として再生しました。育成牛舎の外の斜面に栽培している牧草を母牛に食べてもらっています。こうして中山間地域の魅力を牛の健康に活かし続けることが今後の目標です。



(株)ハーベストファーム 取締役本部長 鹿本佳功さん

## 淡路島でオリーブとの出会い

淡路島でグループ会社の様々な事業に取り組んでいるときにオリーブと出会いました。比較的栽培のしやすいオリーブは私たち農業の専門ではなくても取り組むことができると思い、耕作放棄の解消にもつながると考えました。



## 今後の展開は？

オリーブ園隣接の搾油工場で搾った高品質なエキストラバージンオリーブオイルは2023年度ロンドン、カナダの国際オリーブオイルコンペティションクリオリティー部門で最高位のプラチナム賞を受賞。隣接地でグランピングも開始して、オリーブ園に集客できるよう観光農園を目指しています。



(株) Awaji Nature Farm 代表取締役 田中康輔さん

### なぜ農業を？

私たちのビジョンは農業分野の雇用創造と一次産業の振興により地域の活性化と持続可能な豊かな社会を実現することです。

現在、淡路島の素材や残渣から堆肥作りを行う、循環型農業に取り組んでおり、さらには、収穫等の農業体験など、農業を活かした研修プログラム等で、農に関わる関係人口を増やす取組みも行っていきます。



### なぜ北淡路で？

北淡路には、農業用水が確保されている広い農地があります。自然が豊富なうえ、消費地である都市圏にも近く、淡路島のブランドイメージもあり、「ここしかない」と思い、決めました。



(株) 池上農場 代表取締役 齋藤亜紀美さん

### なぜ農業を？

建設業をしている父が農業に新規参入したことがきっかけでした。淡路島では2010年に、地域団体商標「淡路島たまねぎ」を取得し、ブランド化して一層全国発信する戦略を開始していましたが、私どもも参画して、農業を始めました。

### 今後の展開は？

約14haの農地で年間約800tの玉ねぎを生産し、輸出にチャレンジしたいです。この淡路島が日本だけでなく世界的に玉ねぎで注目される島になれば面白いと思っています。



淡路島ワイナリー合同会社 代表 小谷雄介さん

東日本大震災後、岩手県で復興支援活動を行いながら地域の障がい者のなりわいづくりとしてワイン用ぶどう栽培とワイン醸造を事業化してきました。震災から10年を機に故郷に近い淡路島に移住をしてぶどうを育てながらワインを造れないだろうかと考えておりました。農地を借りる方法もわからず北淡路土地改良区に相談したところ親身になって紹介いただき、思い描いた農地と出会うことが出来ました。

北淡路のテロワールを感じるワインづくりが始まり、地域とのつながりを持った地域活性化を目指しています。



ブルーベリーヒル淡路 代表 林田雅行さん

脱サラしてブルーベリー観光農園を開業するために、都市からのアクセスが良く1カ所にまとまった農地を探して淡路市に相談してみると北淡路土地改良区を紹介され、現在の農地を斡旋してもらいました。希望の面積、農業用水が揃い、農地周辺には観光スポットが点在している条件の良い農地です。2019年にブルーベリー1000本の栽培を始め、翌年には観光農園として開園しました。今後もこの場所で夏の定番としてブルーベリー狩りが定着することを目指し、ブルーベリーの栽培をしていきたいと考えています。



# 北淡路 土地改良区 農地MAP



TM & ©TOHO CO.,LTD.



神戸から車で30分  
 大阪から車で60分  
**北淡路は淡路島の玄関口**



広域MAP



企業参入の状況①(相対契約によるもの)

(令和6年3月末現在)

番号	事業者名	企業概要	貸付面積	開始時期	作付作物	団地名
①	(株)Awaji Nature Farm (パソナ農援隊)	農業関連(農産物の生産、加工及び販売、 経営コンサルト、農業人材育成等)	9.6 ha	H20.6	多品目 玉ねぎ	北淡1-2、北淡5-4 北淡16-2
②	光明建設(株)	建設業	4.0 ha	H20.10	葉ねぎ、ニンニク	別所、新別所
③	(有)芝床農産	農産物の生産(水稲、玉ねぎ、 加工用トマト・キャベツ等)	1.1 ha	H26.10	小麦	北淡11
④	(株)全力フーズ	飲食店事業	2.3 ha	H27.11	野菜、レモン等	東浦6-2
⑤	(有)中垣技術士事務所	食品輸入、卸、小売	1.6 ha	H26.9	オリーブ	北淡5-2
⑥	淡路島オリーブグロワーズ(株)	農業法人	7.0 ha	H28.3	オリーブ	北淡3
⑦	(株)今井ファーム	農産物の生産、販売	1.1 ha	H27.11	玉ねぎ	東浦6-2
⑧	(株)K.ファーム	農業法人	0.3 ha	H28.9	玉ねぎ	東浦白山
⑨	NRCナカヤマ	個人	1.7 ha	H28.9	小麦、水稲	東浦4(西)
⑩	(株)池上農場	農業法人	0.7 ha	H29.1	玉ねぎ	東浦3、北淡5-1
⑪	(株)ハーベストファーム	農業法人	9.6 ha	H29.1	オリーブ	東浦1、東浦4(西)
⑫	(株)栄農人(エナジー)	農業法人	3.8 ha	H29.4	玉ねぎ、レタス	北淡18-2
⑬	(株)淡路の島菜園 グリナリウム淡路島	農業法人	6.7 ha	H30.4	ハウス(トマト、イチゴ) 観光農園	北淡4-1 特区許可H30.3
⑭	(株)ジービーファーム	農業法人	2.2 ha	H29.10	花卉、観賞用植物	東浦6-1
⑮	U R A(株)	法人(飲食業)	0.5 ha	H30.8	観賞用植物	北淡6-2
⑯	市村太佑	個人	0.6 ha	H30.4	ブドウ	北淡11、北淡12
⑰	ブルーベリーヒル淡路 林田雅行	個人	1.0 ha	H31.1	ブルーベリー、 観光農園	北淡5-1
⑱	淡路島ワイナリー合同会社	農業法人	3.0 ha	R1.6	醸造用ブドウ、醸造	北淡12、北淡18-1、北淡16-4
⑲	Domaine KAORU(株)	農業法人	1.3 ha	R1.9	醸造用ブドウ、醸造	東浦2
⑳	太陽通関(株)	法人、通関業、畜産業	7.3 ha	R1.9	畜産、放牧	北淡4-2
㉑	原田政浩	個人	1.3 ha	R1.9	畜産、放牧	淡路新別所
㉒	(株)松下牧場	農業法人	0.6 ha	R1.9	飼料作物	東浦白山
㉓	(株)タナットネイチャーLab	農業法人	2.3 ha	R2.1	野菜、農福連携	北淡18-2
㉔	恵ヴィンヤード 吉井千恵子	個人	0.8 ha	R3.3	醸造用ブドウ	北淡17-1
㉕	(株)ユウキノチカラ	農業法人	4.0 ha	R3.4	オリーブ、醸造用ブドウ	北淡17-1、北淡17-4
㉖	ハートスアグリフロンティア(株)	農業法人	0.7 ha	R3.4	玉ねぎ、野菜、レモン、ブドウ	北淡6-2
㉗	MUKU FARM	特定非営利活動法人	0.7 ha	R3.12	サツマイモ、玉ねぎ	東浦4(西)
㉘	Botanical Life合同会社	農業法人	0.6 ha	R4.3	醸造用ブドウ	東浦2
㉙	Hug hug farm 佐藤真理子	個人	0.1 ha	R5.2	レモン、ヤーコン等	東浦3
㉚	竹岡宏倫	個人	0.6 ha	R5.8	ブルーベリー、観光農園	東浦白山
計(30社)			77.1 ha			

企業参入の状況②(基盤整備を契機とした公募による参入(既参入の企業、地元は含まない))

番号	事業者名	企業概要	貸付面積(聖地面積ベース)	開始時期	作付作物	団地名
北淡路地区(R3~8)						
⑳	(株)Awaji Nature Farm(パソナ農援隊)	農業法人	5.5 ha	R6.5(予定)	醸造用ブドウ、レモン、観光農業	北淡1-1
㉑	(株)池上農場	農業法人	4.2 ha	R5.11	玉ねぎ	北淡1-1
小計2社			9.7 ha(他に地元農業者1.5ha)			
北淡路2期地区(R4~7)						
㉒	(株)今井ファーム	農業法人	2.1 ha	R6.10(予定)	玉ねぎ	北淡1-2,6-1
㉓	(株)ハーベストファーム	農業法人	1.8 ha	R6.10(予定)	オリーブ	北淡6-1,6-2
㉔	ハートスアグリフロンティア(株)	農業法人	1.5 ha	R7.6(予定)	野菜全般	北淡6-2
小計3社			5.4 ha(他にブルーベリーヒル淡路、地元農業者0.4ha)			
北淡路3期地区(R5~10)						
㉕	Domaine KAORU(株)	農業法人	1.2 ha	R8年度以降	醸造用ブドウ、醸造	東浦2
㉖	(有)三界産業	農業法人	1.7 ha	R8年度以降	玉ねぎ、キャベツ	東浦4(東)
㉗	ハートスアグリフロンティア(株)	農業法人	0.8 ha	R8年度以降	野菜全般	東浦2
㉘	(株)池上農場	農業法人	3.0 ha	R8年度以降	玉ねぎ	東浦4(東)
㉙	(株)今井ファーム	農業法人	2.6 ha	R8年度以降	玉ねぎ	東浦4(東)
小計5社			9.3 ha(他にBotanical Life、地元農業者5.4ha)			
計10社			24.4 ha			
合計40社(重複除き31社)			101.5 ha(相対契約㉑㉒との重複除き99.6ha)			

# 北淡路地区企業等連携促進協議会

## 『北淡路地区企業等連携促進協議会』が発足しました！

この協議会は、北淡路地区において農業参入を実施または予定している企業体及び地域営農者、関係機関等が連携することにより、情報の共有化が図られ北淡路地域に新たな農業ビジネス参入を促すとともに、地域営農及び参入企業の経営安定化や拡大に資することを目的に設立されました。会員間に加え関係機関との情報交換やブランド化、6次産業化、販路拡大等の企画実施や情報発信をしていきます。 ※事務局：北淡路土地改良区



設立総会 令和5年12月7日

## 農業参入を検討している事業者メッセージ

会長 (株)Awaji Nature Farm 代表取締役 田中康輔さん

経済の根幹を構成するとも言える農業は、地方における重要な産業のひとつと言えるでしょう。しかし、高齢化社会がもたらす担い手不足という問題を解決するためには、企業による農業参入が最も効果的と言えます。北淡路地区に参入した企業の方々が様々な商機を掴めるような機会を創出させるための協議会です。農業参入を検討している事業者の皆様、我々と共に地域経済の活性化を目指しましょう！



## 協議会員

(令和5年12月時点 五十音順)

- ①淡路島ぐるめ屋 株式会社 ②淡路島ワイナリー合同会社 ③株式会社 Awaji Nature Farm ④株式会社 池上農場  
⑤北淡路肉牛 株式会社 ⑥有限会社 三界産業 ⑦有限会社 芝床農産 ⑧太陽通関 株式会社  
⑨株式会社 タナットネイチャーLab ⑩Domaine KAORU 株式会社 ⑪ハートスアグリフロンティア 株式会社  
⑫株式会社 ハーベストファーム ⑬株式会社 松下牧場 ⑭恵ヴィンヤード ⑮株式会社 ユウキノチカラ

## 会員紹介

### 0 企業等名称

- ①作物、土地利用形態等 ②北淡路における活用面積  
③参入のきっかけ ④取組の将来像

### 2 淡路島ワイナリー 合同会社

- ①ワイン用ぶどう  
②3.0ha  
③気候に恵まれた土地、風土を感じる農地との出会い  
④ワインぶどうの産地形成



### 1 淡路島ぐるめ屋 株式会社

- ①トマト 水耕栽培(施設)  
②0.1a  
③地元農家  
④あわじ島グルメトマト®ブランドの確立とさらなる品質向上



### 3 株式会社 Awaji Nature Farm

- ①畑作、果樹  
②15.1ha  
③農業人材の育成  
④新たな観光需要の創出



# 企業参入・営農状況の事例

## 4 株式会社 池上農場

- ① 玉ねぎ
- ② 4.9ha
- ③ 地元農家、規模拡大
- ④ 淡路の玉ねぎを世界中に広めたい



## 5 北淡路肉牛 株式会社

- ① 飼料作物、放牧
- ② 18.6ha
- ③ 地元農家、規模拡大
- ④ 花さじきの誘客や堆肥利活用



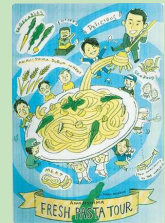
## 6 有限会社 三界産業

- ① 玉ねぎ
- ② 0.7ha
- ③ 地元農家、規模拡大
- ④ さらに規模を拡大していきたい



## 7 有限会社 芝床農産

- ① デュラム小麦等
- ② 1.1ha
- ③ 耕作放棄地解消等
- ④ 淡路麺業等を通じ国産小麦を広めたい



## 8 太陽通関 株式会社

- ① 但馬牛の子牛
- ② 7.3ha
- ③ 荒廃農地の活用
- ④ 広大な草地と牛舎で健康的に育てたい



## 9 株式会社 タナットネイチャーLab

- ① 野菜全般
- ② 2.3ha
- ③ 新規事業で自然環境にやさしい農業に参入
- ④ 農業体験、農福連携、都市と農地をつなぐ



## 10 Domaine KAORU 株式会社

- ① ワイン用ぶどう等
- ② 1.3ha
- ③ 都会に近い島でぶどう栽培に良い環境
- ④ 自社ワイナリーで淡路島ワイン作りと地域貢献



## 11 ハーツアグリフロンティア 株式会社

- ① 畑作物、果樹等
- ② 0.7ha
- ③ おいしい野菜を子ども達に届けたい
- ④ 地域活性化と食のテーマパーク建設



## 12 株式会社 ハーベストファーム

- ① オリーブ
- ② 9.6ha
- ③ 農業参入
- ④ オリーブオイル販売を中心に観光農園など集客施設建設



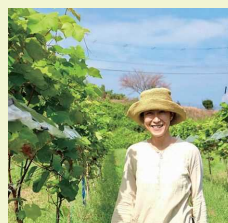
## 13 株式会社 松下牧場

- ① 飼料作物、但馬牛肥育
- ② 0.6ha
- ③ 神戸ビーフ肥育指定生産者
- ④ 自社ブランド牛の提供や循環型農業



## 14 恵ヴィンヤード

- ① ワイン用ぶどう
- ② 0.8ha
- ③ 農業参入
- ④ ワインぶどうの特産化や地域の活性化

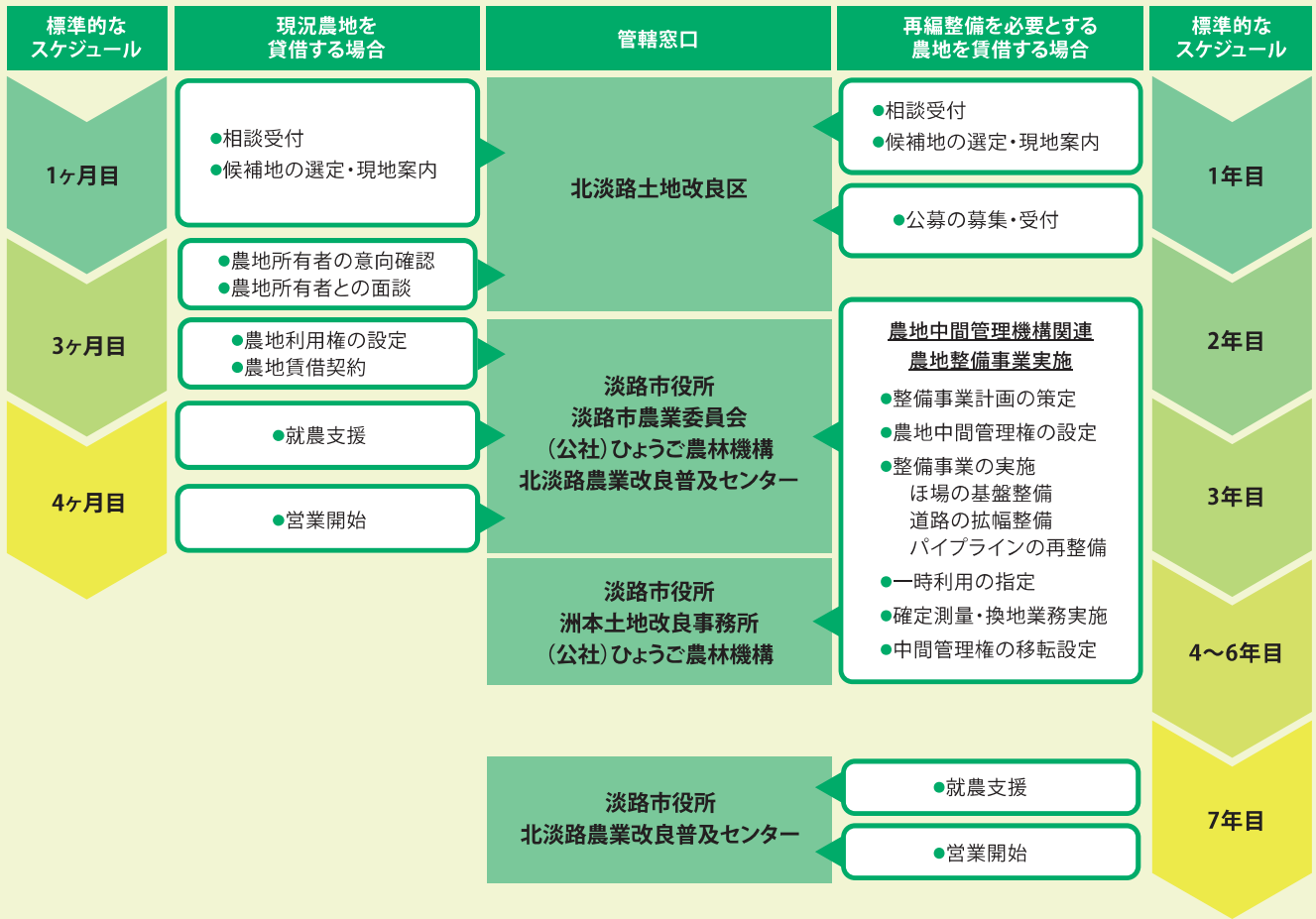


## 15 株式会社 ユウキノチカラ

- ① オリーブ
- ② 4.0ha
- ③ 農業参入
- ④ 観光農園や農家レストラン



# 営農開始までの流れ



## 総合窓口はコチラです

### 北淡路土地改良区

農業参入を希望される企業の皆さまのニーズに応じた農地の賃借をコーディネートします。



連絡先

〒656-1726 兵庫県淡路市野島常盤1372-1  
TEL 0799-82-0387 / FAX 0799-82-1267  
E-mail kitaawaji-totikairyoku@nike.eonet.ne.jp

